



「LACOSTE」を作り出すプライド。 長年着続けることができる信頼ある製品を目指して



株式会社 ヴァルモード

フランス発祥のファッションブランド「LACOSTE(ラコステ)」のカジュアルウェアの生産を担う株式会社ヴァルモード。ラコステ製品を日本で展開しようと、横手市で衣料品製造・卸を行っていた丸巳繊維と共に昭和63年に合名会社として設立し、今年で37年目を迎えた。実は、ラコステの自社工場は世界で3つしかなく、日本国内では唯一同社だけである。世界で愛されるブランドを支える技術とは何か。同社工場長の柴田善己さんが見据える、同社と縫製業のこれからについてお話を伺った。

工場長 しばた よしみ
柴田 善己

〒013-0055
横手市朝日が丘3-27-25
TEL 0182-32-8677
FAX 0182-32-1750
<https://valmode.jp>



HP



反物から製品を製造 高い技術力を保有する縫製工場

横手市にある株式会社ヴァルモードの本社工場を訪れると、大きくラコステのロゴが印字されたシャッターが出迎えてくれた。

「当社ではラコステのフランス本社から届いた仕様書に基づいてパターンを起こす企画課、反物からパターンに合わせて裁断する裁断課の他、縫製から仕上げ、検品までの部署を揃え、一貫して製品を作り上げ、ラコステジャパンに出荷しています。」と語るのは、設立当初から勤務する工場長の柴田さん。

ラコステの製品を作るには、本社が定める基準に準じた技術や環境を整える必要がある。原料は綿100%の素材を仕入れ、糸は超長綿という希少な糸を使用。縫製に使用するミシンの針も決められているだけでなく、裁断から生まれた端材の処理にもコストと環境負荷のかからないよう取り組んでいる。この基準を叶えた自社工場は、世界でも本社があるフランスの他、アルゼンチンと日本の3か所にしか存在しない。



パーツを組み合わせたときに布の繊維や色味が合うように裁断を行っていく。

機械だけでは成立しない縫製業 働きやすい環境を作りたい

工場内では、裁断や縫製には最新の機械が導入されているが、一方で反物の材質の確認や仕上げのアイロン作業、そして検品には、機械には再現できない繊細な手仕事の領域があった。

「ポロシャツ一枚を梱包するのに、人の手で作業した方が美しく仕上がります。縫製業はこの先も絶対に人の手が必要な業種です。」と語る柴田さん。

現在同社では80名の社員が働いており、そのうち8割が女性。設立当初から女性にとって働きやすい環境づくりに力を入れてきたという。



日本の漫画や映画のキャラクターとのコラボ商品。発売後、即完売したという。

「社員の半数以上は未経験で入社した方です。入社して初めの1、2週間は基本的なことをレクチャーしますが、その後は完全にOJT。実際に業務を進めながら教えていくスタイルをとっており、今は活性化センターの協力も得て社員の技術が見える化し、一人ひとりに合わせて設定した目標を達成できるようにしています。」

さらに、以前は繁忙期に残業もあったというが、2年ほど前から柴田さんが本社と掛け合い、業務量が均一となるよう受注量を調整。今では社員全員が定時で退社できる体制になったという。人の手が必要だからこそ、働く環境を整え、定着率を高めたいという想いが表れている。

素晴らしい素材と技術で “本物”を作り上げる技術者集団

ヴァルモードという企業の特徴は何かと伺うと、柴田さんは即答した。

「やはりここで働く職人たちが、『自分たちは世界最高峰の製品を作っているんだ』という誇りを持っていることではないでしょうか。これは彼らにとって日々の

製造のモチベーションにも繋がっていると思います。私たちが長年ラコステの自社工場として認められているのも、ラコステ本社からのレベルの高い要望をそれ相応の技術力を持ってクリアできているからだと自負しています。私もラコステの服を長年愛用していますが、10年、20年持つんですよ。それだけ良い素材と素晴らしい技術で作っているということだと思います。」

ファストファッションが流行している現代において、長年にわたって着続けられる衣服を作るための技術と細部にまでわたるこだわりで改めて感心させられる。

柴田さんは今後、さらに工場内のDX化に取り組んでいきたいと意気込む。

「特に一枚一枚紙で出力している仕様書をデジタル化したいですね。ただ、既存の方法、慣習を変えていこうとすると、抵抗を感じる社員もいます。まずは意識を変えていく必要があると感じているので、これからも、工程改善トレーニングやベンチマーク研修などへ参加し、外部からの刺激を受けながらじっくりよりよい環境に変化させていきたいですね。」



蒸気を当ててしわを伸ばし、光に透かせることで反物の色を確認。長年の経験をもつスタッフの眼光は鋭い。



ラコステの象徴であるワニのロゴマークも一つ一つミシンで縫い付けていく。